

みぶりん

りん

だより

2019年10月号 Vol.62

壬生町町民活動支援センター「みぶりん」

■開館時間

火～金 10時～18時
土・日・祝 10時～17時
(火～金は予約をして頂ければ21時まで利用可能です)

■休館日

月曜日・年末・年始
(火～金は予約をして頂ければ21時まで利用可能です)

〒321-0214 壬生町大字壬生甲 3843-1(保健福祉センター内) HP URL

電話 0282-21-8731 FAX 0282-21-8732

Mail: miburin@bz04.plala.or.jp

<http://www.town-mibu.com/miburin/>

★メールアドレスを教えて頂ければ、毎月

みぶりんだより(カラー版PDF)をメールでお送りします。



お知らせ

第33回 健康ふくしまつり

10/27(日)
9:30～14:30

みぶりんでは、
 ★和紙で作るかざぐるま
 ★おりがみで風船うさぎ!!
 ★バルーンアート体験
 みぶりんへお越しください!

か
和
紙
ぐ
で
作
る
ま
る

第38回 壬生町音楽祭 開催のお知らせ

日時▶11月2日(土) 13時開演

場所▶城址公園ホール 大ホール

入場無料▶家族で楽しめます。

出演団体▶13団体…コーラス、吹奏楽、ソプラノミニコンサート、器楽演奏 他

連絡先▶萩谷隆一 ☎ 86-6013

主催▶壬生町文化協会音楽部



みんなで支えよう!子どもたちの夢 どなたでもご参加ください!!

第1回 ほたるフェス



日時▶11月9日(土) 10:00～14:00

場所▶保健福祉センター 1F 会議室 参加費無料

講演▶「子どもの貧困知っていますか」(午前)

講師▶宇都宮大学農学部3年 内田 恵氏

ステージ▶オカリナ演奏、民話の語り

ほたるカフェ▶カレーライス・ドリンク付1食300円 80食限定 12:00～13:30

販売▶北研のきのこ、野菜、パン

ワークショップ▶まつぼっくりでクリスマスツリー(無料)

貧困対策の紹介・制服リサイクル展示等

連絡先▶みぶほたる(代表 渡辺 ☎ 090-1031-6713)

主催▶壬生町の貧困を考える会 みぶほたる

後援▶壬生町・壬生町社会福祉協議会・壬生町ボランティア連絡協議会

♡お婿さんいらっしゃい♡

いわくわくじじゅ
磐裂根裂神社で素敵な出会い参 加▶☆お婿さんになる男性 限定
対象者▶☆お婿さんを求める女性

日 時▶11月4日(月・祝) 9:30～15:00 ※雨天決行

開催場所▶磐裂根裂神社(栃木県下都賀郡壬生町安塚1772)

申込数▶男女各10名 概ね30～50歳位まで(独身者)

参加費▶男性3,000円 女性2,000円(応募多数の場合は抽選)

※昼食(BBQ)・飲料等を含みます(当日徴収)

申込期限▶受付中～10/18(金)迄

応募方法▶氏名(カガ)・年齢・性別・職業・携帯電話・住所

・自己PRを必ず、メール happychance_78@gmail.com まで。

問合せ▶080-8011-0633

主催▶ハッピーチャンス(代表 小川) 共催▶磐裂根裂神社

後援▶壬生ボランティア・壬生町 協賛▶(有)三晶工業・きのこの北研

壬生の伝説を語る～街道の歴史とともに～

日時▶11月16日(土)

午後1時半より **申込不要・入場無料**

場所▶壬生町保健福祉センター 1階 大会議室

講演▶齊藤 千秋氏(壬生町立歴史民俗資料館学芸員)

伝説語り▶壬生民話ふくべの会

演目▶親抱きの松・縄解地蔵・尼恋塚・猫塚

問合せ▶壬生民話ふくべの会 飯村英子 ☎ 82-7959

主催▶壬生町ボランティア連絡協議会・壬生民話ふくべの会

後援▶壬生町教育委員会・壬生町社会福祉協議会

親子や家族で楽しむサツマイモ収穫体験の募集!

秋の味覚の代表のひとつサツマイモ掘りをしませんか?

日時▶11月16日(土) 9:30～11:30

場所▶壬生町福和田地内 参加費▶1,000円(当日徴収)

サツマイモは10本程度収穫。楽しい試食会もあります。

申込数▶10家族・個人(申込数に達し次第終了。)

申込期限▶11月6日(水)まで

申込先▶事務局(玉田 080-1006-9236)まで。

持物等▶汚れてもいい服装(長袖長ズボン)、長靴、帽子、タオル、スコップ(シャベルや熊手でも可)、軍手(ゴム手袋)、バケツ、ビニール袋

主催▶みぶまち地域活性化21 後援▶壬生町

参加費
無料

みずべの寺子屋 in しののめ 参加者大募集!!

川の「いきもの」を探そう!!

日時▶11月17日(日) 10:00～12:00

集合場所▶ふれあい交流館前(東雲公園内)

参加対象者▶小学生までの親子(家族も可)

参加定員▶10組程度(30名まで)

1. 自然の仕組みを知ろう!
2. 川のなかの「いきものたち」を知ろう!
3. 川の「いきもの」を探そう!!
4. きのこの収穫体験もあるよ!!

川の浅瀬に入る為、長ぐつ、タオル、着替え等をご持参ください。

申込先▶みぶりん。10/17(木)より、来所又は電話にて。定員になり次第締切ます。

問合せ▶川の日を国民の祝日にしよう会

担当／中里年昭 080-5864-7669

主催▶川の日を国民の祝日にしよう会 後援▶壬生町 協力▶(株)北研

② 学童保育でお楽しみ会

③ 清掃活動報告(黒川ハクチョウの里有志の会)

子供たちが水棲昆虫調べ(夢くらぶむつみ他)

フォークソングカフェ(コールたんぽぽ)

④ 施設で健康体操・マジック

栃木県シルバー大学校南校マッチング授業に参加

利用者協議会が「いちご一会とちぎ国体」の委嘱状

目
次

☆「みぶりんだより」は下記のところに置いています☆

みぶりん・保健福祉センター・壬生町役場・各出張所・各コミュニティセンター・各公民館・生涯学習館・図書館・歴史民俗資料館・体育館・みらい館・おもちゃ博物館・嘉陽が丘ふれあい広場・ふれあい交流館・シルバーパートナーズセンター・各小中学校・壬生高校


活動報告

学童保育でお楽しみ会

壬生小学校の学童保育（ベリーキッズクラブ）で、7～8月の夏休み期間中、ボランティアによるお楽しみ会が行われました。

① 映写会（7月24日）

シルバー大学校南校慰問グループ「ザ・ボランティア」の代表で、みぶりんに個人登録もされている山本英雄さんに、16ミリ映写機によるアニメの映写会をやって頂きました。「忍たま乱太郎」「きもだめしのばん」「ちびまる子ちゃん」「じごくのそうべえ」を上映しましたが、どのアニメに対しても、子供たちは楽しそうに目を輝かせていました。



② マジック（7月31日）

「共楽マジッククラブ（村上和郎代表）」の方5人にマジックを披露して頂きました。新聞紙・ひも・ペットボトル・本などを使った見事なマジックに子供達はびっくり！「どうなってるのかなあ？」と不思議そうに、また楽しそうに見ていました。



③ レクリエーション（8月6日）



レクリエーションインストラクターの「めぐりん（岡本恵さん）」にレクリエーションを教えてもらい、みんなで遊びました。手のひらを順番に重ねるゲーム、紙テープを使ったゲーム、新聞紙を立てて高さを競うゲーム、トイレットペーパーの引き出しの速さを競うゲームなど、楽しいゲームをたくさん教えてもらいました。

④ 昔遊び（8月21日）

「シルバー大学校同窓会壬生支部（荻原二三雄支部長）」の方に昔遊びを教えてもらいました。「べ一ごま」「あやとり」「紙鉄砲」

「けん玉」「糸電話」「お手玉」などの昔の遊びに、子供達の目は輝き、あっという間の2時間でした。

（以上、取材担当 鈴木）



⑤ バルーンアート（8月28日）



みぶりん個人登録の鈴村さんによるバルーンアート教室が行われました。参加の児童31人がバルーンアートでインディアカ（尾羽付きの球を手のひらで打つニュースポーツ）のボールを作りました。

途中バルーンが破裂する音にキャラッとして悲鳴を上げることもありながら、先生たちと一緒に楽しくバルーンをねじっていき、無事全員バルーンを完成させて最後には各自で飛ばして遊びました。元気のいい子どもたちが一工程進むたびにバルーンの形を剣！魚！リボン！と遊びながら楽しい時間を過ごしました。

（取材担当 坂本）

新規登録団体・個人 (8/21～9/20)

みぶりんでは、団体・個人の登録を隨時受け付けています。

登録No.	名称	活動内容
団体280	トマトぐみ	保育園生活を健康で安全に充実した時間となるよう、イベント等に参加し盛り上げサポートしています。
団体281	下馬木お達者サロン	令和元年6月開設。毎月第2水曜日を基本に、月1回の活動を実施しています。
団体282	ふれんど東雲	要介護者が家庭的な環境のもと食事・入浴・排泄等の日常生活の支援を受けながら共同生活を営む施設です。

活動報告

清掃活動報告 「黒川ハクチョウの里」有志の会

近年、厳冬期の早朝に黒川橋下流の河川敷に立つと、川面に優美な白鳥の姿がみられるようになりました。この広い河川敷に先々月の8月4日、栃木土木事務所了解のもと熱中症対策用テントを張り、本期2回目の清掃活動を行いました。真夏日にもかかわらず紅一点を含む13名の参加があり、清掃活動終了後は、代表杉山文雄宅で手打ちそば会を催し、会員相互の親睦を深めました。

本会は、今年2月に「愛リバーとちぎ」の認定団体として発足し、この夏から町内外の白鳥愛好家により活動を開始したところです。もちろん活動の中心は、夏場ではなく白鳥の飛来する冬場（12月上旬から翌年3月上旬）となります。もし、白鳥に興味を持たれ、マナーを守りやさしく接したいと思われる方がおられましたら、この時期に黒川の広い河川敷にどうぞお越しください。

（会員 山名久雄様記）



朝霧立つ川面に白鳥 (1/26)



今期2回目の清掃活動 (8/4)

“子供たちが水棲昆虫調べ”～黒川に清流を取り戻す～

8月7日、しののめ公園に隣接する黒川の河原で、森の子保育園・ありんこ保育園・六美南部育成会の児童100人とNPO夢くらぶむつみが共催で、第11回“水棲昆虫調べ”を行いました。

当日は、黒川にサケを呼び戻す会代表世話人・ありんこ保育園長 荒川富夫様の挨拶で始まり、元壬生高校生物教諭の一杉周平先生より水棲昆虫調べの方法と注意事項を説明して頂いた後、子供たちは河原に入り川底の石をそっと取り上げ手作りの網で昆虫をすくい上げ「この昆虫の名前は？」と、一杉先生より渡された「水棲昆虫指標」(環境省作成)を見て調べていました。

水棲昆虫は多くがカワゲラやカゲロウ幼虫、トビゲラの幼虫も交じっており、黒川は「清流と少し汚れた川に棲む昆虫が入り交っていること」を子供たちは確認しました。

昆虫調べが約1時間で終了すると、子供たちは浅瀬の川で水遊びを楽しんでいました。黒川の清流を一日も早く取り戻し、子供たちが安心して水辺で遊べる日が訪れる日を町民みんなで作りましょう！

(NPO夢くらぶむつみ理事長 佐々木 剛様記)



フォークソングカフェ コールたんぽぽ

8月25日、稲葉地区公民館で「コールたんぽぽ（岡本恵代表、ピアノ小倉史江様）」による“フォークソングカフェ”が開催されました。

当日は70名以上の参加者で大賑わいとなり、「この広い野原いっぱい」「翼をください」「いちご白書をもう一度」「時代」「なごり雪」等々、1960～70年代の懐かしいフォークソング約10曲を全員で大声で歌い、まるで歌声喫茶のよう。取材している私も思わず口ずさんでしまう独特の雰囲気でした。

(取材担当 鈴木)





施設で健康体操・マジック

**藤平芳弘様
栃木県マジックホップの会**

8月20日、「デイサービスあゆむ」にて、藤平芳弘様による健康体操が行われました。参加者22名は、肩をほぐしてから足踏みをし「脳トレ体操」では頭を使うじゃんけんで楽しみました。指を使った面白体操や、肩甲骨やふくらはぎを伸ばしたり肩たたきでリズムを取ったり、内容盛りだくさん。藤平さんより、「笑っていると長生きします」「考えることなどで脳が活性化します」「80才でも筋肉はつきます」等、アドバイスをいただきました。藤平さん、ありがとうございました。（取材担当 小田垣）



8月29日には、同じく「デイサービスあゆむ」で、「栃木県マジックホップの会（ばばひろし代表）」のマジックが行われました。

いつもながら、ばばさんのところのマジックは見事で、トークも楽しく、見ている人を飽きさせません。いつも場を明るくして頂いてありがとうございます！



当日は利用者の中に、9月25日で103歳になる「日高ヤスエさん」もいらっしゃいました。

（取材担当 鈴木）

栃木県シルバー大学校南校マッチング授業に参加 壬生町ガイドボランティアの会・壬生民話ふくべの会・みぶりん

9月5日、県シルバー大学校南校において「第39期生マッチング授業」が開催され、みぶりんからは壬生町ガイドボランティアの会（藍田收会長）、壬生民話ふくべの会（飯村英子会長）そしてみぶりんが参加いたしました。

このマッチング授業は、シルバー大学校を卒業される学生の方々に、卒業後の社会貢献活動の場を紹介・提供することが目的となっているものです。

当日は、第39期生全員の前で自己紹介を行った後、コーディネーターの方からのインタビューにより会の紹介を行いました。また、ロビーには参加団体の活動内容を紹介するブースも設置され、壬生町出身などの学生が立ち寄り活動内容などの説明を詳しく聞いていました。（玉田）



みぶりん利用者協議会会长桑原史朗氏が、「いちご一會とちぎ国体」 壬生町実行委員会委員及び常任委員の委嘱を受ける

2022年に開催される「いちご一會とちぎ国体」の、壬生町実行委員会の設立総会・第1回総会が8月20日町城址公園ホールにおいて開催され、壬生町実行委員会会长の小菅一弥町長より、みぶりん利用者協議会会长桑原史朗氏が壬生町実行委員会委員及び常任委員に委嘱されました。

2022年国体では、壬生町の正式競技は「スポーツクライミング（リード、ボルタリング）」と「銃剣道」です。またデモンストレーションスポーツは「ターゲット・バードゴルフ」です。

国体では、利用者協議会の会員が力を合せて、本町に来られる多くの選手・関係者等に対して、おもてなしの心で温かくお迎えいたしましょう。

委嘱状

壬生町民活動支援センターみぶりん利用者協議会
会長 桑原 史朗 様

いちご一會とちぎ国体壬生町実行委員会委員及び常任委員を委嘱します。

令和元年8月20日

いちご一會とちぎ国体壬生町実行委員会

会長 小菅 一弥

【編集後記】 ■ 台風15号による千葉県内の広域停電は、予想をはるかに超えるものでした。ライフラインのまひで不自由な生活が続き、エアコンや風呂なども利用できなくなり携帯電話も使用できません。普段からの備えが非常に重要だと感じ、我々にできることを考えていきたいと思いました。（玉田） ■ 9,10月は敬老会シーズンで、私もボランティアの方を紹介している関係で各所に出掛けます。これからも先輩方の為に少しでもお役に立てればと思います。（鈴木） ■ 来所されるお客様とお話しさせていただくことがとても楽しいです。どなたでも気軽にみぶりんに来てください(^^)（小田垣） ■ 気温や天候が最近苛烈になってきていると思います。秋冬は大事ないと良いのですが…（坂本）